

令和3年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：2022年3月31日

事業所名 こどもプラス大阪2nd

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数がスペースに見合った運動ができるようにプログラムを工夫しています。	事故、怪我発生を0にする
	2 職員の配置数は適切である	○		新規職員の配置を随時行い、基準を満たすようにしております。	継続する
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	事業所入口に2段の階段がありますので足の不自由な児童の安全を支援員が見守りしています。	見守りの強化
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		常勤職員だけでなく非常勤も交えて実施しています。	継続する
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年度末にアンケートを実施し、ご意見や問題点の把握、改善を図っています。避難場所などの説明がないという意見があり、明記したものを配布しました。	継続する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPを活用して公表を行います。また、保護者様には、集計と回答を直接配布します。	継続する
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	こどもプラスHD本部にて評価を実施していますが、完全な外部評価は行えておりません。	外部評価の打診を行う
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		運動などのなどの、支援方法・安全面・虐待防止など、視点での研修を定期的に行っています。	特になし
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者、本人からのアセスメントを元にニーズを把握し、計画を作成しています。	特になし
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを活用して、毎年更新しています。	特になし
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常勤職員が中心となり、各支援員の長所を行かしたプログラム作成を行っている。	継続する
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しない新しいプログラムを柔軟に取り入れています。	継続する
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇や祝日にイベントを目的を持って企画・実施をしています。	継続する
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動が中心ですが児童の状況に応じて個別での支援を行う計画も作成しています。	継続する
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		勤務開始前に朝礼を行いその日の支援内容や役割分担、児童の状態の把握に努めています。	特になし
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の出来事を職員間で共有できるように職員連絡ノートを活用したり、翌日の朝礼で、共有を図っています。	特になし

関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	児童の状況のや支援方法をなどを記録にとることで児童の課題を明確にし支援に活用できるようにしています。	特になし
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	3か月に一度、モニタリングを実施し、計画継続や修正など、見直しの判断を行っています。	特になし
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○	児童の状況のや支援方法をなどを記録にとることで児童の課題を明確にし支援に活用できるようにしています。	特になし
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が基本的には出席しますが、児童の状況や課題に合わせて上記以外の職員が出席することがあります。	特になし
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	保護者様と協力・連帯して各学校と連絡・調整を行い情報の共有を図っています。	継続する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、医療ケアの必要な児童はおりません。	特になし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	プライバシーに配慮し、情報共有するように努力しています。	必要範囲内で行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	まだ該当する児童はいません。	特になし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	随時連絡はとっており、研修等には積極的に参加しています。	特になし
保護者への	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	コロナ感染防止の為、事業所以外の児童との接触は避けさせて頂きました。	継続する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	市の取り組みや吹田市事業所連絡会には今後も変わらず参加させていただきます。	特になし
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者様とは児童の課題等についてコミュニケーションを図り、情報共有がしやすい環境づくりを行っています。	特になし
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者様からの相談は常時行っておりますが、ペアレント・トレーニングは不十分である。	ペアレント・トレーニングの充実化に向けて改善を図る。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に必ず説明を行っており、必要な場合にも随時説明を行っています。	特になし
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	常日頃より、相談を受けた場合には、助言やサポートを行い、必要に応じては外部ともしっかり連携を図っています。	継続する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	令和3年度は、コロナ感染防止の為保護者会等は開催できませんでした。	令和4年度は開催予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	なるべく当日、翌日の解決を目指し対応しています。すぐに職員に周知させ、苦情報告書を提出しております。	継続する

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		HPIにて活動の様子を報告しております。	継続する
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		保護者様に、契約時に説明を行いお写真などに関しては事前に同意をいただいています。また、教室からの流出のない対応を心がけています。	継続する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		絵カード、書面では、拡大文字版・ルビ版などを作成し、対応しています。	継続する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		令和3年度はコロナ感染防止の為見送らせて頂きました。	特になし
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		契約時に、説明は行ってはおりますが、保護者様への完全周知できているかが課題である。マニュアルの更新と共に書面や保護者会などで周知を図っていきたいと考えます。	全マニュアル、訓練等の実施を保護者様へ報告を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		定期的に避難訓練を行っています。	継続する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待研修は毎年度実施し、虐待0について取り組みうを行っており、役所やSSWなどとも、連携しての対応を心がけています。	特になし
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		身体拘束0に向けての取り組みを行っており、身体拘束の実施はありません。	特になし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		保護者様よりアレルギーに関する情報は伺っておりますが、医師の指示書までは頂けておりません。必要であれば指示書の提供を求めています。	特になし
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		事業所内で事例をファイリングし、いつでも閲覧できるようにしています。集約なども行い、モニタリング等も実施していきます。	特になし	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。